

6月8日(日)に周山城址発掘調査 講演会を開催

<共催:周山城址を守る会・あうる京北>

演 題:周山城発掘調査から見えてきた城の姿(仮称)

講演者:西森 正晃 京都市文化財保護課主任

[令和6年度発掘調査責任者]

日 時:令和7年6月8日(日)午後2時30分から

会 場:京都府立ゼミナルハウス(あうる京北)ホール

受講定員: 100名程度 受講料: 500円(資料代)

申込方法: ゼミナルハウスに電話でお申し込みください。

[電話番号: 075-854-0216]

<今回の発掘調査現場>



【転用石の使用も明らかになった大規模石垣】 【初めて発見された場内の住居跡】

<第3次調査(令和6年11月~12月実施)結果のポイント>

- ・二ノ丸虎口の全容が明らかになり、これら写真や幅7m・11段の階段も発掘
- ・本丸前大手道への壮大な薬医門[4本柱を屋根で覆った門]の痕跡(4か所の柱礎石)
- ・転用石には、400kg以上の宝篋印塔台座も用いられ、石垣の一部には火災の跡も

【同時開催】周山城址登城会の開催[募集人員:30名程度]

6月8日(日) 午前9時30分 道の駅「ウッディ京北」集合
講演会受講とあわせてゼミナルハウスにお申込みください。